

カンジダ・アンタルクティカ由来リパーゼB、組換え

Cat. No. NATE-0398

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明カンジダ・アンタルクティカ由来のリパーゼBは、オクタン酸よりも大きな脂肪酸からエチル

D-グルコピラノシドのエステル合成において効果的な触媒であることが示されています。また、さまざまな有機反□を触媒することができ、多くの異なる位置選□的およびエナンチオ選□

的合成を含むことがわかっています。

 π リパーゼは、キラル化合物の分解およびバイオディーゼルのトランスエステル化生産のために

産業的に使用されます。

別名 EC 3.1.1.3; リパーゼ; トリグリセリドリパーゼ; トリブチラーゼ; ブチリナーゼ; グリセロー

ルエステルヒドロラーゼ;トリプチリンナーゼ;ツイーンヒドロラーゼ;ステアプシン;トリアセチナーゼ;トリプチリンエステラーゼ;ツイーンエース;アマノ N-AP;タケド 1969-4-9;メイト MY 30;ツイーンエステラーゼ;GA 56;カパラーゼ L;トリグリセリドヒドロラーゼ;トリオレインヒドロラーゼ;ツイーン加水分解エステラーゼ;アマノ CE;カコルダーゼ;トリグリセリダーゼ;トリアシルグリセロールエステルヒドロラーゼ;アマノ P;アマノ AP; PPL;グリセロールエステルヒドロラーゼ;GEH;メイト産業 OF リパーゼ;肝リパーゼ;リパジン;ポストへパリン血漿プロタミン耐性リパーゼ;塩耐性ポストへパリンリパーゼ;へパリン放出可能肝リパーゼ:アマノ CES;アマノ B:トリブチラーゼ:トリグリセリドリパーゼ:肝リパーゼ:

肝モノアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼ; 9001-62-1

製品情報

種 カンジダ・アンタークティカ

由来 アスペルギルス・オリゼー

形態 パウダー、ベージュ

EC番号 EC 3.1.1.3

CAS登□番号 9001-62-1

活性 ~9 ユニット/mg

単位定義 1 Uは、pH 8.0および40°Cで1 μ molの酪酸を1 μ あたり放出する酵素の量に相当します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C